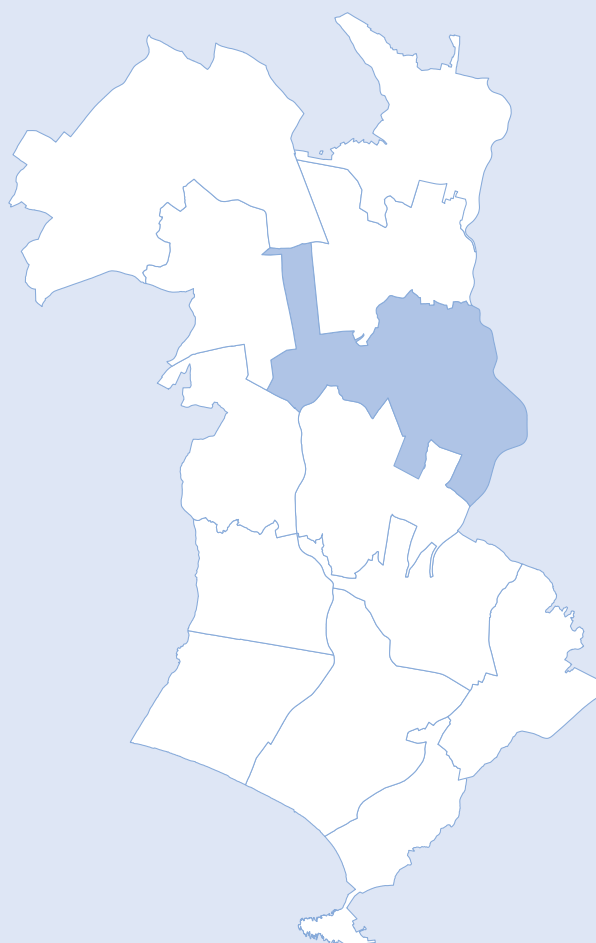


9

六会地区構想

MUTSUAI AREA



現況と課題

1 現況

六会地区は1942年(昭和17年)に藤沢市に合併し、昭和40年代に土地区画整理事業が行われて以降、住宅地として発展をはじめました。現在では、自然的環境に恵まれた緑豊かな居住環境を形成しています。引地川、境川、谷戸、湿地、農地等の多くの自然が美しい景観をつくり出しており、地区の特徴となっています。

地区南部は市街化調整区域に指定され、引地川と境川を結ぶ緑の帯を形成しています。耕地面積が広く、本市の中心的な農業生産の場となっていますが、徐々に緑が減少してきています。

土地区画整理事業が行われた地区以外で、亀井野二本松線の整備が進んでおらず、地区内の道路網として機能が十分でない状況です。また、六会日大前駅周辺の地区中心部では、踏切や道路を歩行者や自転車、自動車等が錯綜し、安心して通行できない状況です。北東部では狭隘道路が多く、また宅地開発等による行き止まり道路が増えています。

公共交通は、ミニバスの導入による改善も見られますが、六会日大前駅を中心とした地区の中心部へ移動する手段が不十分な地域が残されています。

地区内には、日本大学をはじめとする文教施設が多く存しています。



2 都市づくり上の課題

- ◆六会日大前駅周辺を、地域の中心拠点として、地区の活力を創出し、地区住民の暮らしやすさを高める必要があります。駅や市民センター等公共施設の周辺は、歩道や踏切等の歩行者への対応が十分でないため、超高齢社会における安全な道づくりが求められています。
- ◆狭隘道路が多い地域や、開発による行き止まり道路が増えている地域では、地区住民がより安心して生活できるよう、改善に向けて取り組み、より安全なものとし、災害に強いまちづくりが必要です。
- ◆地区が東西に広く、小田急線と引地川によって分断されている状況です。東西間の移動の利便性を高めるため、地区内の重要なネットワーク手段である亀井野二本松線の整備促進を図るとともに、南部や東部では六会日大前駅へアクセス性の向上が必要です。
- ◆地区西部における公共交通の充実が求められています。
- ◆市街化区域内の農地は、土地利用転換しやすいことから、今後、生産緑地制度の維持・活用や良好な市街地環境のあり方等の検討が必要です。また、市街化調整区域の農地は本市の中心的な生産の場として、将来にわたって維持保全が必要です。
- ◆市街化調整区域に設置された大規模直売施設は本市の農業振興の拠点として位置づけられており、都市と農業との交流の場として維持・活用するとともに周辺農地を今後とも保全することが必要です。
- ◆境川、引地川に挟まれた六会地区では、河川沿いの斜面樹林や河川敷の緑を維持保全するとともに、水と緑のネットワーク形成に向けた取組が必要です。



3 地区の指標

※グラフ中の数値は四捨五入を用いているため、合計が100%にならない場合があります

序章

第1章

第2章

第3章

第4章

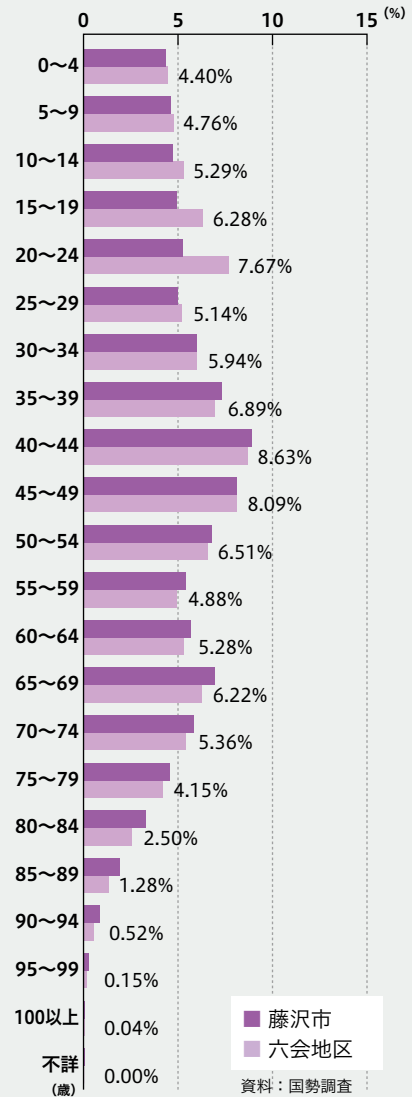
資料編

人口の状況

資料：国勢調査

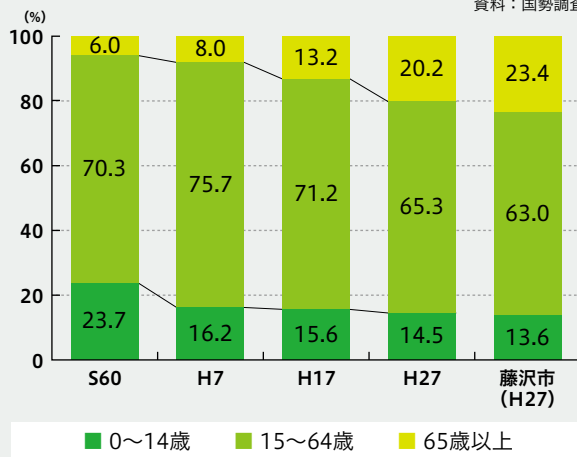
	S60	H7	H17	H27
全体(人)	21,840	29,519	33,310	35,679
増加率(%)		35.2	12.8	7.1
人口密度(人/km ²)	3,025	4,089	4,614	4,961
世帯数	6,988	11,252	13,581	15,039
増加率(%)		61.0	20.7	10.7
世帯規模(人)	3.13	2.62	2.45	2.37

年齢別人口の構成(平成27年)



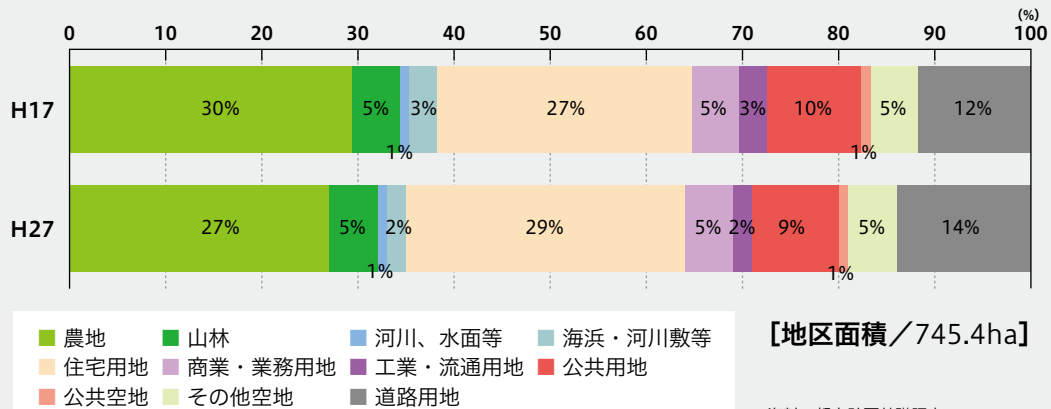
年齢三区区分構成比の推移

資料：国勢調査



土地利用構成割合の推移

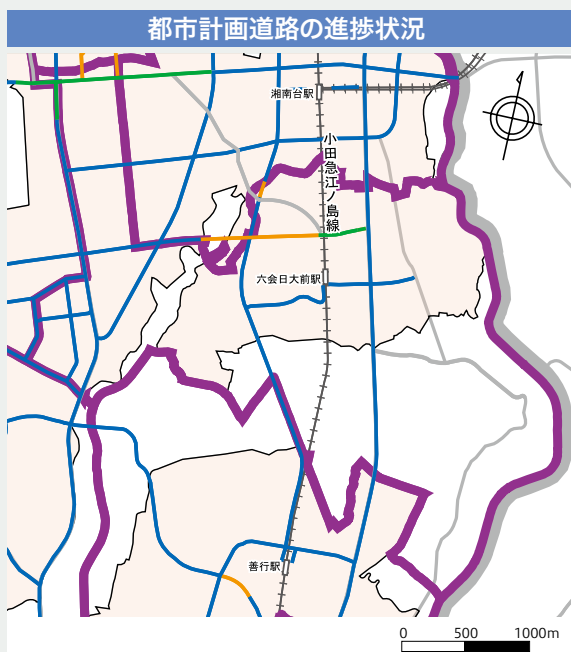
- ・最も多いのは住宅用地で、地区の29%を占めるとともに、農地を含む自然的土地利用が全体の35%となっています。
- ・平成17年から10年の間で農地等の自然的土地利用が減少し、住宅地が増えています。



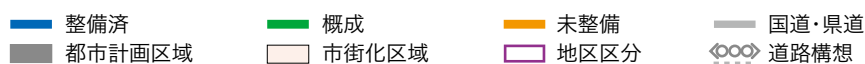
【地区面積/745.4ha】

資料：都市計画基礎調査

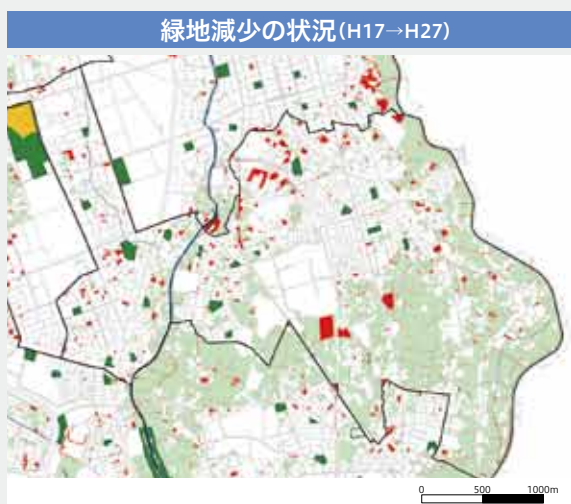
道路・鉄軌道の状況



- ・小田急江ノ島線六会日大前駅が地区の中心に立地しています。
- ・都市計画道路のうち、亀井野二本松線等が未整備となっています。



水・緑の状況



- ・西側に引地川、東側に境川があり、境川周辺の傾斜緑地は、特別緑地保全地区に指定されています。
- ・市街化調整区域の農地が、境川と引地川を結ぶ緑の帯の役割を担っていますが、減少がみられます。
- ・市街化区域内の今田や亀井野では、自然的土地利用が多く見受けられます。
- ・未整備の都市計画公園はありません。



*土地利用現況については、都市計画基礎調査の項目変更等により、実際の土地利用の変更の有無にかかわらず、土地利用転換があったものと見なされる場合があります。 資料：都市計画基礎調査

地区の将来像

素的なふるさと 六会

地区内に立地する大学や高校等文教施設との協働のもと、恵まれた豊かな自然環境を活かし、誰もが安心して住むことのできる地区をめざします。

住民の身近な暮らしを支えるため、六会日大前駅周辺を地区の中心として、生活サービス機能を充実するとともに、地区東西の移動の利便性や駅へのアクセス性を高め、多くの人が移動しやすく、暮らしやすい環境づくりに取り組みます。

超高齢社会における、災害に強い道づくりに取り組み、安全・安心して生活できる環境づくりをめざします。

地区南部に広がる農地や、境川、引地川沿いの斜面樹林等の自然を、地区の貴重な資源として将来にわたって維持保全し、大規模直売施設を活用しながら農業振興を図ります。

まちづくりの基本方針

土地利用

①六会日大前駅周辺部の、地区の暮らしを支える中心地としての充実

- ◆六会日大前駅周辺を地区中心として、駅前商店街の活性化や生活サービス機能の充実を図ります。

②安全・安心な住宅地として、居住環境の維持・改善

- ◆災害時や緊急時に備えるため、狭隘道路の解消や行き止まり道路を増やさない、ブロック塀の改修を進める等、安全・安心な居住環境を図ります。
- ◆基盤整備を終えた地区では、良好な居住環境の維持に努めます。
- ◆地区東部に多く残る未利用地では、土地利用の方向性について検討します。
- ◆北部第二土地区画整理事業が施行済の地域では、隣接する工業地と共存する市街地を維持します。

③市街化調整区域における、農地の維持・保全と生活環境の維持・改善

- ◆市街化調整区域の農地は、本市の貴重な農業基盤として、また、河川緑地や斜面緑地とともに緑の帯を形成する美しい景観資源として、将来にわたり維持・保全を図ります。
- ◆遊休地となった農地は、市民農園や農業体験農園等交流の場としての有効活用を検討します。
- ◆大型農産物直売施設設置による地域農業の向上や都市住民との交流等を考慮した総合的な農業基盤整備の維持充実を図ります。
- ◆生活の安全性や快適性の向上のため、居住環境の整備を推進します。

交通

①地区内の連絡を強化する道路網の充実

- ◆地区内外の交流や移動を支えるとともに、鉄道を挟んだ東西をつなぐ道路網の充実に向け、善行長後線の整備を引き続き推進するとともに、亀井野二本松線等の整備を検討します。

②生活の利便性を確保し、安全・安心な交通環境の改善

- ◆地区拠点の周辺では、歩道の整備や段差解消といったバリアフリー化をはじめ、踏切の安全対策の検討等、歩行者が安心して移動できる安全な道づくりを進めます。
- ◆てんじんミニバスの運行の維持を図ります。さらに地区内の移動の利便性を高めるための身近な公共交通サービスの充実をめざします。
- ◆相鉄いずみ野線の延伸に取り組むとともに、延伸に伴う新たな駅の設置に併せて、既存バス路線の再編など、交通利便性の向上をめざします。

水・緑

①引地川・境川や農地を中心とした緑の維持・保全

- ◆河川沿いの斜面樹林や河川敷の緑は、市街化調整区域の農地とともに、六会らしい自然景観をつくる水と緑の軸として一体的な維持・保全に努めます。
- ◆引地川緑道や境川を中心に、六会の自然を満喫できる広域的なレクリエーションネットワークづくりをめざします。
- ◆斜面緑地は、貴重な自然資源・景観資源として、特別緑地保全地区の指定や市民等の保全活動等により維持・保全に努めます。

②地区の身近な憩い・交流の場として公園・広場の維持・充実

- ◆都市公園は、住民主体による公園の維持管理を促進するとともに、公園の利用形態の変化に対応した使いやすい公園・広場づくりを検討します。

景観・防災・都市づくり等

①文化にふれあうまちづくりの検討

- ◆大学や高校が立地する地区の特性を十分に活かし、地域、大学、市が連携した文教地区にふさわしいまちづくりについて検討します。

②安全・安心の向上に向けた総合治水の推進

- ◆境川、引地川の治水対策の促進及び一色川の治水対策の推進とともに、下水道整備等による浸水対策を推進します。

六会地区将来構想図

序章

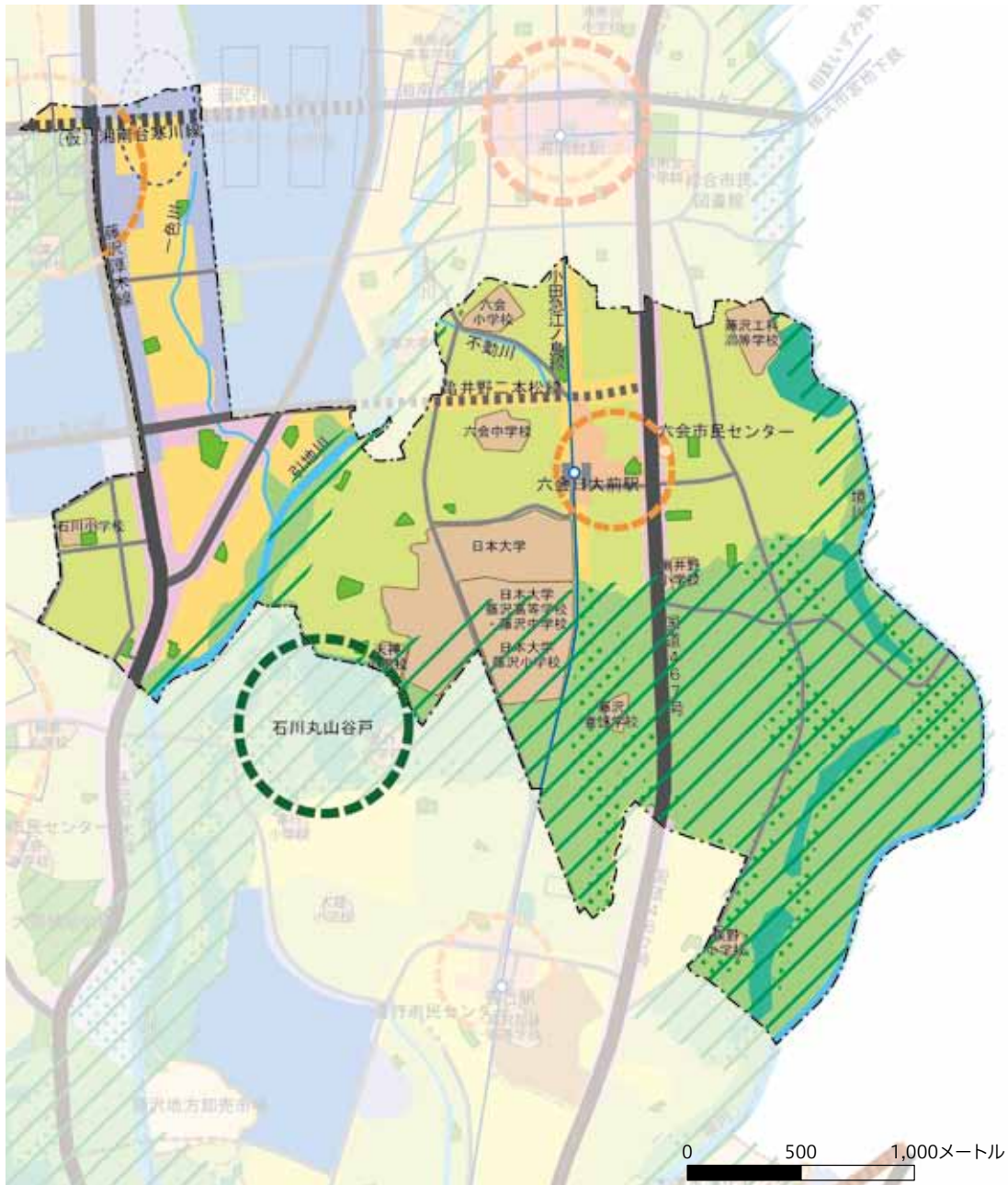
第1章

第2章

第3章

第4章

資料編



	都市拠点		鉄(軌)道		低層住宅専用ゾーン
	地区拠点		自動車専用道路		中高層住宅専用ゾーン
	緑の保全拠点		主要幹線道路		一般住宅ゾーン
	都市農業交流拠点		幹線道路		集落地ゾーン
	市街地検討エリア		補助幹線道路		田園ゾーン
	13地区		歩行者自転車専用道路		緑地等ゾーン
	公共施設		(実線:整備済)		遊水地ゾーン
	学校(小、中、高、大学)		(点線:未整備・概整)		文化・教育・公共施設ゾーン
	港湾		(円:構想)		商業・業務ゾーン
	水と緑のネットワーク		新たな公共交通(構想)		地域型商業ゾーン
	都市計画公園(整備済(一部整備済含む))		海上交通		沿道型商業ゾーン
	都市計画公園(未整備)				工業住宅複合ゾーン
					工業ゾーン
					新産業ゾーン